

2024年12月11日

各 位

会社名 クックビズ株式会社
代表者名 代表取締役社長 藪ノ 賢次
(コード番号：6558 東証グロース)
問い合わせ先 執行役員 コーポレート本部
エグゼクティブマネージャー 餌取 達彦
(TEL. 06-7777-2133)

2024年11月期業績予想の修正ならびに
2025年11月期業績見通しに関するお知らせ

当社は、最近の業績の動向等を踏まえ、2024年12月11日開催の取締役会において、以下のとおり、2024年7月12日に公表しました2024年11月期連結業績予想を修正し、また、2025年11月期連結業績見通しを取りまとめましたので、お知らせいたします。

記

1. 当期の連結業績予想数値の修正（2023年12月1日～2024年11月30日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想（A）	百万円 3,500	百万円 351	百万円 343	百万円 390	円 140.05
今回修正予想（B）	3,276	91	80	3	1.27
増減額（B－A）	△223	△260	△263	△386	-
増減率（％）	△6.4	△73.9	△76.6	△99.1	-
（参考）前期連結実績 （2023年11月期）	2,665	290	287	267	96.84

2. 連結業績予想修正の理由

事業再生・成長支援事業であるきゅういち株式会社においては、鮮魚ならびにホタテの売上が堅調に推移するとともに、東京電力のALPS処理水問題に起因した中国による禁輸措置を受け、当連結会計年度より、従前のホールセール販売だけではなく、飲食店への販売を強化した他、ECサイトを通じて一般消費者への直接販売を開始したこと等を主因とし、2024年7月12日に公表しました2024年11月期売上高予想を上回る見込みとなりました。

一方で、主力事業のHR事業におきましては、以下の要因により、下期のHR事業の売上高が当初計画を下回る見込みとなっております。

①アフターコロナの人流回復に伴う飲食店の人材需要増の特需が、当初想定よりも早期に一巡したこと

②採用育成の強化及びサービスサイトリニューアル対応により、一時的な生産性の低下が生じたこと

なお、2024年11月期期末時点において一部良化しているKPIはあるものの、サービス商品設計等

の課題に対する改善を実施中。

営業利益・経常利益におきましては、HR事業における売上高の未達の一方で採用等の戦略投資による費用増に伴い前回予想を下回る見込みとなりました。また、事業再生・成長支援事業におきましては、中国禁輸以前の両貝ホタテの在庫に対する在庫評価損を計上したことに伴い、前回予想を下回る見込みとなりました。

親会社株主に帰属する当期純利益につきましては、2024年6月14日公表の「連結子会社きゅういちにおける補助金の交付決定に関するお知らせ」に記載の通り、同日付で「ALPS処理水関連の水産業の緊急国内加工体制の強化対策事業」の交付が決定したため、2024年11月期連結会計年度において特別利益（補助金収入）として、89百万円を計上する見込みとなりました。

一方で、当社が保有する投資有価証券について、財政状態や今後の見通しについて判定を行った結果、2024年11月期連結会計年度において、減損処理による投資有価証券評価損99百万円を特別損失として計上する見込みとなりました。

また、前回の業績予想において、今後の業績見通しを踏まえ、繰延税金資産を追加計上することを見込んでおりましたが、その後の業績動向等を考慮し、繰延税金資産の回収可能性を慎重に検討した結果、当期末において繰延税金資産を一部取り崩すこととしました。これにより、2024年11月期第4四半期連結会計期間において、法人税等調整額（△は利益）を1百万円計上（前回の連結業績予想では△87百万円の計上）する見込みとなりました。これらの影響により、親会社株主に帰属する当期純利益につきましては、前回予想を下回る見込みとなりました。

*補助金収入および減損損失の詳細は、本日公表の「特別利益（補助金収入）および特別損失の計上に関するお知らせ」をご覧ください。

（ご参考1）セグメント別2024年7月12日公表業績予想および修正数値

①HR事業

	売上高	営業利益
前回発表予想（A）	百万円 2,400	百万円 241
今回修正予想（B）	2,063	△1
増減額（B-A）	△336	△243
増減率（%）	△14.0	-

②事業再生・成長支援

	売上高	営業利益
前回発表予想（A）	百万円 1,100	百万円 110
今回修正予想（B）	1,213	93
増減額（B-A）	113	△16
増減率（%）	10.3	△15.5

3. 2025年11月期（2024年12月1日～2025年11月30日）の連結業績見通しについて

2025年11月期の連結業績については、HR事業における営業人員の生産性回復を背景に増収基調を見込みます。引き続き社内体制の整備ならびに顧客満足度を追求した業績向上を重点課題といたします。連結子会社きゅういち株式会社におきましては、2024年11月期において堅調な成長を実現しましたが、2025年11月期におきましては、前期の施策を継続し堅実な成長を維持することを想定しております。

損益面におきましては、採用計画において、2024年11月期と比較して抑制する計画であることから効率的にコストコントロールを行い、安定的な収益基盤を構築いたします。これらのことから、売上高 3,500百万円、営業利益175百万円の見通しといたします。

なお、経常利益、親会社株主に帰属する当期利益、1株当たり当期純利益の見通しについては、2025年1月14日に公表予定の2024年11月期決算発表において開示する予定です。

（ご参考2）セグメント別2025年11月期業績見通し

①HR事業

	売上高	営業利益
2025年11月期見通し（A）	百万円 2,200	百万円 100
2024年11月期修正予想（B）	2,063	△1
増減額（A－B）	136	101
増減率（％）	6.6	-

②事業再生・成長支援

	売上高	営業利益
2025年11月期見通し（A）	百万円 1,300	百万円 75
2024年11月期修正予想（B）	1,213	93
増減額（A－B）	86	△18
増減率（％）	7.1	△19.4

<業績等の予想に関する注意事項>

この資料に記載されております業績等の予想数値につきましては、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。

以上